

インフルエンザワクチンの接種について

・このワクチンは、小児においては成人ほどの発病予防効果が期待できません。とくに乳幼児の場合はインフルエンザ感染による重症化を防ぐ効果を期待するワクチンであるご理解下さい。接種された後も効果を過信せず予防につとめて下さい

・1歳未満の乳児に関しては「ワクチンに効果がある」という根拠に乏しいため、ご家族のご希望があれば接種致します(当方からは1歳未満の乳児に対して接種を積極的にはおすすめておりません)

・体温測定についてのお願い

可能であればご来院の直前に自宅で体温測定をし、予診票に記入して下さい

なお、当院では特に理由が無ければ1回目は左上腕、2回目は右上腕に接種致します

・ワクチン供給の問題で、1回目と2回目のメーカーが異なる場合がありますが効果的には問題ございません

・接種後に強い腫れがあり次の接種に不安がある場合は、腫れた部分をスマホなどで撮影して頂く事をお勧めします

うえだこどもクリニック

〔ワクチンの効果と副反応〕

この予防接種により、インフルエンザの発病を阻止し、インフルエンザによる合併症や死亡などを予防することが期待されます。

一方、副反応は一般的に軽微です。注射部位が赤くなる、腫れる、硬くなる、熱をもつ、痛くなる、しびれる、小水疱などがみられることがあります。通常は2～3日で消失します。なお、まれですが蜂巣炎に至った症例の報告があります。発熱、悪寒、頭痛、倦怠感、一過性の意識消失、めまい、リンパ節腫脹、嘔吐・嘔気、腹痛、下痢、食欲減退、関節痛、筋肉痛、咳嗽、動悸なども起こることがありますが通常は、2～3日で消失します。過敏症として、発しん、じんましん、湿しん、紅斑、多形紅斑、かゆみなども起こります。その他に、顔面神経麻痺などの麻痺、末梢吐ニューロパチー、失神・血管迷走神経反応、しびれ感、ぶどう膜炎があらわれることがあります。強い卵アレルギーのある方は、重篤な副反応を生じる可能性がありますので必ず医師に申し出て下さい。

非常にまれですが、次のような副反応が起こることがあります。(1)ショック、アナフィラキシー(じんましん、呼吸困難など)、(2)急性散在性脳脊髄炎(接種後数日から2週間以内の発熱、頭痛、けいれん、運動障害、意識障害など)、(3)ギラン・バレー症候群(両手足のしびれ、歩行障害など)、(4)けいれん(熱性けいれんを含む)、(5)肝機能障害、黄疸、(6)喘息発作、(7)血小板減少性紫斑病、血小板減少、(8)血管炎(アレルギー性紫斑病、アレルギー性肉芽腫性血管炎、白血球破砕性血管炎等)、(9)間質性肺炎、(10)脳炎・脳症、脊髄炎、(11)皮膚粘膜眼症候群(Stevens-Johnson症候群)、(12)ネフローゼ症候群、このような症状が認められたり、疑われた場合は、すぐに医師に申し出て下さい。なお、健康被害(入院が必要な程度の疾病や障害など)が生じた場合については、健康被害を受けた人又は家族が独立行政法人医薬品医療機器総合機構法に基づいて救済手続きを行う制度があります。独立行政法人医薬品医療機器総合機構法のホームページ(<https://www.pmda.go.jp/>)を御覧ください。

〔予防接種を受けることができない人〕

1. 明らかに発熱のある人(37.5(C以上の人)
2. 重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな人
3. 過去にインフルエンザワクチンの接種を受けて、アナフィラキシーを起こしたことがある人
過去にその他の原因でアナフィラキシーを起こした人は、接種を受ける前に医師にその旨を伝えて判断を仰いで下さい。
4. その他、医師が予防接種を受けることが不相当と判断した人

〔予防接種を受けるに際し、医師とよく相談しなければならない人〕

1. 心臓病、腎臓病、肝臓病や血液の病気などの人
2. 発育が遅く、医師、保健師の指導を受けている人
3. かぜなどの症状が出はじめたと思われる人
4. 予防接種を受けたときに、2日以内に発熱のみられた人及び発しん、じんましんなどのアレルギーを疑う異常がみられた人
5. 薬の投与又は食事(鶏卵、鶏肉など)で皮膚に発しんが出たり、体に異常をきたしたことがある人
6. 今までにひきつけ(けいれん)を起こしたことがある人
7. 過去に本人や近親者で検査によって免疫状態の異常を指摘されたことのある人
8. 妊娠している人
9. 間質性肺炎、気管支喘息などの呼吸器系疾患のある人

〔ワクチン接種後の注意〕

1. インフルエンザワクチンを受けたあと30分間は、急な副反応が起きることがあります。院内にいるか、もしくは異変があった際にすぐに連絡がとれるようにしておきましょう。
2. 接種部位は清潔に。接種当日の入浴は差し支えありませんが、接種部位をこすことはやめましょう。
3. 接種当日はいつも通りの生活をしましょう。激しい運動は避けましょう。
4. 万一、接種後、接種局所の異常反応や体調の変化を訴える場合は、速やかに医師の診察を受けて下さい。